

令和5年第6回定例会議

# 教育委員会会議録

令和5年7月24日

羽島郡二町教育委員会

令和5年第6回羽島郡二町教育委員会定例会会議録

※当議事録では、個人情報に関する記述の省略・不適切な表記の訂正などを行っている部分があります。

○日 時 令和5年7月24日（月曜日）午前8時50分から午前11時25分まで

○場 所 岐南町役場 2階 会議室2-1

○会期の決定について

<日程第1> 前回の会議録の承認について

<日程第2> 教育長の報告

○議 題

<日程第3> 議案第18号 令和6年度使用小・中学校教科用図書の採択について

○協 議 題

- <日程第4> (1) 郡地域学校協働活動研修会について  
(2) 夏休みこども教室（岐南）・夏の親子教室（笠松）について  
(3) 教員採用選考2次試験の参観について  
(4) 岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会の開催について  
(5) 次回（第7回）教育委員会定例会の開催について  
(6) 次々回（第8回）教育委員会定例会 および 第1回羽島郡二町教育委員会運営協議会の開催について

○出席者

教育長	野原弘康
教育委員（教育長職務代理者）	久納万里子
教育委員	岩井弘榮
教育委員	西雅代
教育委員	羽田野正史

○説明のために出席した者

総務課長	坂井政俊
学校教育課長	宮川浩司
社会教育課長	藤枝豊和

1 本日の書記

総務課長	坂井政俊
------	------

教育長	<p>(午前8時50分 開会)</p> <p>&lt;開会&gt; 只今より、令和5年第6回羽島郡二町教育委員会定例会を始めさせていただきます。</p>
教育長	<p>&lt;会期の決定について&gt; 初めに会期の決定についてお諮りします。議事日程により、会期については、本日1日とすることとしてよろしいでしょうか。</p>
教育長	<p><b>【異議なし】</b></p> <p>ありがとうございます。異議なしと認め、会期は1日とさせていただきます。</p>
教育長	<p>&lt;日程第1&gt; では、日程第1「前回の会議録」について、総務課長より報告をさせていただきます。</p>
総務課長	<p>前回の会議録の承認についてご報告いたします。資料2頁をご覧ください。 令和5年第5回羽島郡二町教育委員会定例会議は、令和5年6月26日(月)午前10時45分から 笠松町立下羽栗小学校 1階東 創造室で開催されました。その会議の概要をご報告します。</p> <p>議題としまして、 議案第17号 優秀な教職員の認証及び表彰候補の承認について ・学校教育課長が議案書に基づき、SES認定候補者4名について実績等の紹介および推薦理由の説明を行い、原案どおり承認されました。</p> <p>続きまして、協議題としまして、 (1) 令和5年度羽島郡PTA連合会三者協議会について ・社会教育課長が「羽島郡PTA連合会三者協議会開催要項」により、7月14日(金)に笠松中央公民館集会室において、各学校校長、PTA会長、二町教育委員会の三者で意見交流を行うことを説明させていただきました。</p>

	<p>(2) 令和5年度人権教育研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育課長が、7月28日(金)14:00から岐南町中央公民館にて「羽島郡人権教育研修会」を計画しており、当日は岐阜聖徳学園大学の小森保直先生を講師として、羽島郡内の教職員や社会教育関係者を対象とした講演会を実施する予定であることを説明し、承認をいただきました。</li> </ul> <p>(3) 令和5年度市町村教育委員会研究協議会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務課長が、スケジュールについて説明を行い、後期分の案内が届き次第、連絡する旨を伝え、承認を得ました。</li> </ul> <p>(4) 次回(第6回)教育委員会定例会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務課長が7月のスケジュールについて説明を行い、令和5年7月24日(月)8:45分から岐南町役場 2階 会議室2-1で開催することを決定し、後日ご案内を送付させていただくことでの了承を得ました。</li> </ul> <p>以上が、令和5年(第5回)教育委員会定例会議の報告でございます。</p>
教育長	<p>では、以上の会議録につきまして、何かご意見等よろしいでしょうか?</p> <p><b>【異議なし】</b></p>
教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p><b>【前回の会議録については承認】</b></p>
教育長	<p>&lt;日程第2&gt;教育長の報告</p> <p>現在思っていることを少しだけお話させていただきます。</p> <p>前期前半終えてということで、今年4月に、学校教育総会があったのですが、初めて対面という形で、先生方の前で、50分ぐらいお話をさせていただきました。特に、当事者意識を持って、主体的にという部分を大事にしたいということ。それに伴って、授業改善、或いは学習集団づくりを通して、個性の伸長、サポートの必要性、そうしたものを、先生方に伝えながら、教育活動の充実を図っていきたい、そして子供たちの人格の形成に結びつけたいと、話をさせていただきました。</p>

前期前半を振り返ってみて、全体的には本当に落ち着きある教育活動を積み上げることができたのかなという事は感じます。先日松枝小学校へ行ったとき、一人一人の居場所というか、一人一人を認めて生活をしていくという、そうした基盤ができつつあることは感じました。

それで自主的な能力の育成のためのベースは大事にさせていただいているという事はわかりました。しかし、教育委員会に入ってくるいろいろ情報は、危機管理意識、個人情報のことも含めてですが、熱中症対策、登下校時の雷に対する臨機応変な対応であるとか、個人情報の管理徹底であるとか、不祥事に繋がりがかねないことについては、管理職の方も一緒になって動いていただいて、非常に丁寧な対応によって、大事にならずに済んでいます。さらに、個別案件はやはり非常に多くあり、このことへの対応が、先生方の勤務を逼迫させているということを感じます。体調不良に追い込まれてしまう、そうした案件もありました。

そうしたいろいろな事情を知りながら、先生方は授業をしていかなければならない、授業の改善をして面白い授業にしたいとい考えるのが理想ではあるのだけれど、それを受けとめられる人間関係にあることが大切です。事情を知れば知るほど、何とかそれを解決できるような方向に持っていきたいと思っています。

先日、歴史未来館の会議運営協議会で話をさせていただきましたが、何か先生方自身が、教材とか学問そのものに打ち込んで、面白いとか、異次元の世界で、自分を見直すとか、そうした時間を本当に取れているのかということをおもいました。苦しみがあるだろうけれども、それ以上の楽しみがあります。そこが、今の私の中で何かもやもやしたところで、何とかそれを先生一人一人が生き生きと学べるような方向へ持っていけるとよいと考えております。

この夏休みの研修等の内容に浸かってもらえるといいと思っています。

教育長

二つ目に、校長会で少しお話をしたことがあります。7月の校長会でした。攻めの校長・守りの校長という話でした。守りの校長というのは、あれをやろうと思っても、これが危険だからとか、こういうリスクがあるからとか、ああでもないこうでもないと言って、今の現状を事なかれ主義で流していく校長先生がいるだろうし、そうではなくて、現状を見たときに子供たちにこれが必要だから、ちょっとこういう心配はあるかもしれないけれど、このことをきちっと指導していかなきゃならないと、そういった校長先生もいるだろう。

羽島郡の校長先生方を見ていくと、攻めの校長先生が多いと感じます。特にこのコロナ禍で見えてきた大切なことを取り入れて、進化した教育活動を展開しようと努めていらっしゃる事です。ICT、健康管理、対面で学ぶ必要性、熟議

の必要性、同僚性などいろいろなところが見えてきましたが、一つはここに挙げたものが、その活動の制限の影響による、見つけるべき対策能力の部分です。

新聞などの報道では、川では遊ばないように書いてありますが、自然豊かなところで、そういった体験をしなければ学べないことはあります。危険性をしっかりと理解をした上で、ライフジャケットなどの装備をして、危険はどこまでだからここまでは大丈夫、きちっと遊び・休み・楽しみたいという、そうしたところができなければいけないだろうと思っています。ぜひ自然とうまく付き合う能力を高めることを大事にしたいと私は思っています。

昨日、ニュースで岩野田中学校の水泳の授業が放送され、中学校で着衣水泳やペットボトルを使った浮き方を体験していました。この話をして、着衣水泳を郡内では松枝小学校がやっていますが、下羽栗小学校の通信でも紹介されていました。ありがたいと思います。

そうした、服を着て水に入るといふことには、どれだけの抵抗があるかとか、普段とは違ふだろうといふことで、安全を確保しながら体験をして、感覚を掴むといふことは大事であると思ふます。そうしたことをするかどうか、攻めの校長と守りの校長の違いかと思ふます。

小学校3年生までプールの授業なかつた学校があり、まず水に顔をつけることができるのかといふことを考えたとき、できない子に対しどういった手だてを使えばよいかといふ話がありました。

守りの校長であれば、熱中症になるので、できませんと言われるだろうし、攻めの校長であれば、そこはちゃんと配慮して、時間をずらして実施するだろう。

先生に負担をかけなくてもいいし、もし僕もやりますといふ人がいればやってもらえばいいと思ふし、そのところで、地域の人にも来てもらったり、PTAにもご理解・ご協力いただいたりして、今教えなければ将来危険であることを、教える機会はないと思ふています。学校としてどう考えるかといふ問題提起しました。

コロナ禍から見えてきたことの一つといふことで、ご紹介させていただきました。

教育長

3番目、先日第1回目のいじめ問題対策委員会連絡協議会がありました。3年目です。地域の人に学校の指導・子どもの様子もよく知ってもらえる機会です。また、関係機関からも専門的な視点からも助言してもらえます。

例えばいじめの問題は最終的には謝罪という形をとりますが、謝罪をしたから終わりではなく、心に落ちたところまできちんと判断していかなければいけな

<p>岩井委員</p>	<p>い。被害者のケアは必要です。さらに、加害者がなぜそういうことするか、必ず何か背景があるはずなので、その気持ちを理解し、行為と心情の指導をしていく必要がある。そんなときに、カウンセラーを使う、或いは学校だけではなく外部機関を利用することの助言を受けました。</p> <p>いろいろ事案がありますが、我々はその保護者の意向に従って、対応することが多い、事案によっては、警察にきちっと報告し、救援すべきこともある。さらに、相談をする事案もあることを、弁護士先生からいただきました。</p> <p>水泳を3年間行ってもできない児童もいます。学校だけで行おうとしても、どうしてもできないことはあると思います。こういうことをどう考えているのだろう。親に働きかければ、また別の解決策が出てくるのではないかと。</p> <p>学校だからこれをやろうとしているのだし、特に今働き方改革の中で、先生方が理想とする教師の在り方というのが、少し変わってきているのかという気がする。そういった中で、こういった問題はここだけでやろうとしても、なかなか難しいのですね。僕が一番問題だと感じているのは、保護者がどう考えているのかということです。</p>
<p>羽田野委員</p>	<p>水泳教室に通っている子供が多いので、やる必要がないのではないかと、そういうふうに言われた時期もあったと思いますが、もともと教員採用試験に出ていましたので、そういうところが変わってきていると思います。</p> <p>従って、先生自体も教え方に不安を感じていると思います。その辺で、先ほど言われたように、泳げない子供を対象にデータ集めるとか、そういう方法をとった指導する方が、合理的であると思います。ただ、子供たち同士で教え合うということも大事だと思います。どちらがいいのか分かりませんが、特に全然顔も水につけられないような子がいるとすれば、そういうことを本当に真剣に考えてやってもらわなければいけないと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>この頃、新聞でも話題になっていますね。</p>
<p>久納委員</p>	<p>昨日のNHKのテレビでやっていたのは、その着衣指導が本当に実際有効なのかという実験をどこかの教育学部が調べており、波があるところでは、波が顔にかかるので、浮いて待つということが現実的ではないだろうということ。ペットボトルを持つというのも、大人でも体を保つことは大変で、それも現実的ではない。ライフジャケットであれば大丈夫だということでした。羽島郡では、海に遊</p>

	<p>びに行かれる方も多いでしょうけど、川が身近にあるので、川であれば波の心配はないが、着衣水泳は意味があると思います。昨日テレビで言っていたのは、着衣水泳の指導も大事ではあるが、その前にまず、1人で遊ばないという、複数で遊んで何かあったときは、誰かが連絡できる体制に行くということが大事であるということにも力を入れていかなければならないということでした。</p> <p>あと、最初に教育長が話された、天候が不順であった時の対応について心配でした。生徒に聞いたところでは、その前に、先生から帰るように指示されて家に帰り、家へ帰ってから雷と雨が降ってきた。別の日には、一旦雨が止んだので、今帰れと言われて帰ったが、家についてからザッと降り出した。先生としては、どのタイミングがよかったのか、判断が難しかったと思います。</p>
西委員	<p>私たちのころは、もっと水泳の期間が長かったように記憶しています。今、数回それだけのために水着を購入しなければならない。また、ワンシーズンで結構サイズアップし、着られなくなってしまうことがあります。</p> <p>それで、その先に水泳の大切さとか水難事故の件とかあるので、すごく難しい。プールサイドも本当にすごく暑いし、すべてが悪循環と感じています。数回でもやってもらってよかったなと思います。</p>
岩井委員	<p>トータルで夏休みの過ごし方そのものをもう一度見直さなければならないと思います。水泳教室なり、いろんなことを含めて、この30日余りの夏休み期間をどうやって子供たちに過ごさせるのか。もう1回考えなければいけないということですね。</p>
教育長	<p>ラジオ体操についても、日常の経験やみんなでやれる環境ができてきているので、そういったのが上手にやるっていうことも大事かもしれないけど、地域の方と一緒にってというコミュニティの場としていくことが、大事なのだろうということを思います。</p>
教育長	<p>では、「令和6年度使用小・中学校用教科用図書の採択」について、学校教育課長の説明を求めます。</p>
学校教育課長	<p>本日の議題「令和6年度使用小・中学校用教科用図書の採択」は、羽島郡二町の小・中学校で使用する来年度の教科用図書（教科書）について、岐阜市を除く</p>

	<p>岐阜地区の市町で設置した「岐阜地区採択協議会」で選定した教科書の採択を行っていただきます。</p> <p>まずは、資料の確認をいたします。</p> <p>委員の皆様の机の上に、全14ページになる議案集、78ページになる調査研究資料、議案第18号のレジュメがあります。</p> <p>また、採択をする教科書については、その教科・種目ごとに候補となるものを2冊机の上に準備します。そして、後ろの机には教科・種目ごとの全社の教科書がありますので、ぜひご覧ください。また、教科書にあるQRコードも活用いただき、教科書の特徴をよくつかんでいただけるとありがたいです。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>議案集の8ページをご覧ください。</p> <p>本年度は、5月19日（金）までに、第1回の協議会を実施し、約一か月の調査研究を経て、7月7日（金）に第2回協議会が実施しました。そこで、調査研究結果の報告・協議の上、岐阜地区としての教科用図書の選定がなされました。</p> <p>教科用図書の採択は、協議会参加の市町教育委員会の責任と権限において、すでに議決を経ていますが、「岐阜地区採択協議会」における協議の結果に基づき、どの市町も同一の教科用図書を採択することが定められておりますので、本日の羽島郡二町教育委員会の選定案がこの岐阜地区の選定結果と同一のものとなっております。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>レジュメの3・4ページをご覧ください。</p> <p>先ずは、「令和6年度に使用する中学校用教科用図書」です。</p> <p>令和6年度使用中学校用教科用図書は、特別な事情がない限り、令和5年度と同様の教科用図書を選定する必要があります。本年度使用しております全ての発行社について、発行元の倒産等の特別な事情はありませんので、委員会の承認を求めるものです。</p> <p>ご承認のほどよろしくお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>何かご意見ございますか。無いようですので、議案の承認をとります。</p>
<p>教育長</p>	<p>続いて、「令和6年度使用小学校用教科用図書の採択」について、学校教育課長の説明を求めます。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>議案集の9ページをご覧ください。</p>

<p>学校教育課長 (国語)</p>	<p>令和6年度使用小学校用教科用図書について、次のように採択することについて、委員会の承認を求めます。</p> <p>本議案は、新たにすべての11種目の教科用図書の採択を行います。</p> <p>11～12ページをご覧ください。</p> <p>岐阜地区採択協議会において、新たに文部科学大臣の検定に合格した小学校用教科書のうち、見本本の提供がなかった理科・生活の『信州出版』を除く、全ての教科用図書を調査研究、協議のうえ、選定がされました。</p> <p>選定に当たっては、協議会の委嘱を受けた調査研究員が、研究員会を通して、詳細な調査研究を行いました。その結果を、選定資料にまとめています。</p> <p>選定資料の1ページをご覧ください。全ての種目の調査研究は大きく3つの視点に沿って行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1つ目が、学習指導要領にかかわること、</li> <li>2つ目が、岐阜県教育振興基本計画にかかわること、</li> <li>3つ目が、印刷・製本等にかかわることです。</li> </ul> <p>これらを視点とし、各教科、種目の特性に応じてさらに着眼点を設定し、各社を比較検討し、2ページ以降に、発行者ごとの意見書をまとめました。</p> <p>選定資料の5ページをご覧ください。</p> <p>こうした比較検討の結果が、この全社比較資料です。選定資料の種目ごとにあります。○は配慮が見られる、◎は十分な配慮が見られることを表しています。</p> <p>いずれの種目も、全社よさや特徴が見られた結果となっておりますが、本日は採択された1社について焦点を当てて、説明いたします。</p> <p>それでは、まず、国語について説明いたします。</p> <p>選定資料5ページをご覧ください。国語は、3社について調査研究が行われました。</p> <p>国語では、学校生活や社会生活に生きる言語活動を通して、目的意識をもって学習に臨む、課題解決的な学習を大切にしています。</p> <p>このような学習に、有効に活用できる教科書はどれであるかを調査研究した結果、『光村図書』が選定されました。</p> <p>具体的に説明をします。</p> <p>6年の53ページをご覧ください。説明文の導入のページが用意され、単元の目標と、学習する3つの教材が示されています。</p> <p>54・55ページには、「練習教材」が用意されています。上段に、文章の構成を示すバナーが記され、下段に、どんな観点から考えるのかを示しています。</p>
------------------------	---

<p>学校教育課長 (書写)</p>	<p>この「練習教材」により、56 ページから始まる本編を目的的に読み進めることができるようにしています。</p> <p>順にめくり、62 ページをご覧ください。「問いをもとう」と投げかけ、課題解決的な学習につながる視点を示すと共に、「目標」で学ぶ内容を具体化しています。</p> <p>また、見開きの上段には、単元の学習過程が見通せるよう項目を起こし、下段には、「話合いの例」として、「筆者の主張」を捉える指導事項を強く意識した話し方を示しています。</p> <p>このように、資質・能力が確実に身に付くよう、課題解決的な学習に改善を図るための配慮が十分になされているという点から、国語では、『光村図書』が選定されました。</p> <p>続いて、書写についてです。</p> <p>選定資料 10 ページをご覧ください。書写も、3社の調査研究が行われました。</p> <p>書写の学習では、文字や書写の文化に興味関心をもち、文字を書く技能を高めるために、児童の主体的な学びを促すことを大切にしています。</p> <p>このような学習に、有効に活用できる教科書はどれかを調査研究した結果、『光村図書』が選定されました。</p> <p>『光村図書』の教科書3年生10・11ページをご覧ください。</p> <p>単位時間の学習過程が、運筆や字形について「考え」、実際に書いて「確かめ」、学んだことを「生かす」三段階で示されています。具体的な場面で説明いたします。</p> <p>3年生16ページの「横画」をご覧ください。</p> <p>ページ上部に、「横画」を書くときの筆使いを、猫のイラストや感覚的に捉えることができる表現を付けて、児童に分かりやすく示しています。</p> <p>そして、ページ下部に、先ほどの三段階の学習の進め方、考えよう、たしかめよう、生かそうについて示されています。</p> <p>また、その右隣には単位時間のねらいと、それを振り返るチェック欄が、左隣には、単位時間で学ぶ内容のポイントやコツが位置付けられています。</p> <p>また、6学年を通してキャラクターが一致しており、一貫した編集方針が見とれます。</p> <p>このように、学習の進め方を分かりやすく示し、児童が主体的に学ぶための配慮が十分になされている点から、書写では『光村図書』が選定されました。</p>
------------------------	---

教育長	それでは、質問を受けさせていただきます。何かございますでしょうか。
久納委員	実際に教えるときは、先生がこの教科書を見ながら教えられるのでしょうか。
学校教育課長	教科書とともに教科書にあるデジタル教材（QRコード）を使って、全体で見たりとか、ポイントを見たりなど、視覚的な対応で行っております。従って、家で行うことも可能です。
教育長	承認を取らせていただきます。国語については『光村図書』でよろしかったでしょうか。続いて、書写についても『光村図書』でよろしかったでしょうか。
委員	はい。
教育長	続いて、社会についてお願いいたします。
学校教育課長 (社会)	<p>選定資料 15 ページをご覧ください。社会は、3社の調査研究が行われました。社会科は、社会的な見方・考え方を働かせて、課題を追究したり、解決したりする活動を通して、公民としての資質・能力の基礎を育成することが目標としています。</p> <p>このような学習に、有効に活用できる教科書はどれかを調査研究した結果、『東京書籍』が選定されました。</p> <p>『東京書籍』の教科書 4年生 74 ページをご覧ください。単元導入ページの左側に、学習過程「つかむ」が大きく示され、75 ページの下部に、単元の「学習問題」が示されています。順にめくり、76 ページから 85 ページには、学習問題を解決するための「調べる」学習、86 ページには、「まとめる」学習、さらに、88 ページには、単元の学習を生かして、実際に風水害が起きときに、自分がどんな行動するかを考える学習活動が設定され、単元全体を通して、主体的・対話的で深い学びを進めることができるようよく配慮されています。</p> <p>次に、「ICT の活用」について説明いたします。</p> <p>75 ページに戻ってください。右下に二次元コードが位置付けられていますので、ぜひスマートフォン・タブレットで読み取ってください。</p> <p>どの単元も、導入のページの二次元コードが位置付き、読み取ると、単元の学習の関わる動画やワークシートが用意され、ICT を学習過程に沿って、効果的に活用できるよう工夫されています。</p>

	<p>このように、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」「ICT を活用した学習活動の充実」への配慮が十分である点から、社会科では『東京書籍』が選定されました。</p> <p>さらに、『東京書籍』の教科書は5・6年生が分冊されており、子供の持ち運びにも配慮がされています。</p> <p>続いて、地図についてです。</p> <p>選定資料 19 ページをご覧ください。地図は、2社の調査研究が行われました。重点を置いて調査した「主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善」について説明します。</p> <p>『帝国書院』の地図帳、7ページから20ページまでを順にご覧ください。</p> <p>初めて地図帳を手にする小学3年生が、地図に関する基礎的・基本的な知識や技能が習得でき、学ぶ楽しさを実感し主体的に学習できるよう、14 ページを使用し、地図の成り立ちや地図帳の使い方を説明しています。3年生が学習することを考慮し、大きなフォント、落ち着いた配色、大きな図版といった工夫がされています。</p> <p>57 ページをご覧ください。中部地方の地図が掲載されていますが、児童の主体的な学びを喚起するために「地図マスターへの道」コーナーを設置し、質問内容を考えることで、児童が空間的に事象を見たり、考えたりすることができるようにしています。質問を難易度に分けて表示するなど、学習意欲を喚起する工夫がされています。このように、児童が楽しんで地図に関わるという点で、よく工夫されており、児童のより主体的・対話的な学びを生み出す配慮が十分されている点から、地図では『帝国書院』が選定されました。</p>
<p>学校教育課長 (地図)</p>	<p>続いて、地図帳についてです。</p> <p>選定資料 19 ページをご覧ください。地図は、2社の調査研究が行われました。重点を置いて調査した「主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善」について説明します。</p> <p>『帝国書院』の地図帳、7ページから20ページまでを順にご覧ください。</p> <p>初めて地図帳を手にする小学3年生が、地図に関する基礎的・基本的な知識や技能が習得でき、学ぶ楽しさを実感し主体的に学習できるよう、14 ページを使用し、地図の成り立ちや地図帳の使い方を説明しています。3年生が学習することを考慮し、大きなフォント、落ち着いた配色、大きな図版といった工夫がされています。</p> <p>57 ページをご覧ください。中部地方の地図が掲載されていますが、児童の主体的な学びを喚起するために「地図マスターへの道」コーナーを設置し、質問内容を考えることで、児童が空間的に事象を見たり、考えたりすることができるようにしています。質問を難易度に分けて表示するなど、学習意欲を喚起する工夫がされています。このように、児童が楽しんで地図に関わるという点で、よく工夫されており、児童のより主体的・対話的な学びを生み出す配慮が十分されている点から、地図では『帝国書院』が選定されました。</p>
<p>教育長</p>	<p>社会と地図について説明をさせていただきました。何かご意見はありますでしょうか。</p> <p>『帝国書院』の方は、20 万分の 1 の地図と 100 万分の 1 の地図が両方あります。20 万分の 1 の地図は、小学校 3 年生から扱っていくので、最初から 100 万分の 1 になると、小学校 3 年生には抵抗が大きいと感じています。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>子供たちには、取り組みやすい教材であると思います。他の会社も工夫はされていますが、『帝国書院』のものが秀でています。</p>
<p>教育長</p>	<p>質問等よろしかったでしょうか。</p>

	承認を取らせていただきます。まず社会については、『東京書籍』でよろしかったでしょうか。
委員	はい。
教育長	地図については、『帝国書院』でよろしかったでしょうか。
委員	はい。
学校教育課長 (算数)	<p>続いて、算数について説明いたします。</p> <p>選定資料 27 ページをご覧ください。算数は、6社の調査研究が行われました。算数では、知識及び技能を確実に身に付け、数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的な学びを通して、自ら学びを深めることを大切にしております。このような学習に、有効に活用できる教科書がどれかを調査研究し、『東京書籍』が選定されました。</p> <p>『東京書籍』の教科書、5年上の21ページをご覧ください。複雑な立体の体積を求める学習です。</p> <p>右側に、「問題をつかもう」と投げかけ、見通しをもって自分で追究できるように促しています。</p> <p>1枚めくってください。見開きで、「縦に切って分ける」「へこんだ所を引く」「飛び出た部分を切って動かす」の3つの方法で、多様な考え方に気付かせています。また、深い学びの視点から、「自分の考えと似ているもの」だけでなく、「自分の考えとは違う考えを読み取って説明しよう」と投げかけ、さらに考え方を広げようとする働きかけがあります。</p> <p>続いて、24ページをご覧ください。ここでは、どのように考えて問題を解決したかを振り返られるノートの工夫が示されています。自分の考えや仲間の考えをもとにして、解決に至るまでの道筋を書くことで、大切な見方・考え方に気付くことができる流れになっています。</p> <p>このように、児童が数学的な見方・考え方を働かせ、自らの学びを深めていくことへの配慮が十分になされている点から、算数では『東京書籍』が選定されました。</p>
教育長	何かご意見はありますか。

久納委員	算数は、どのぐらいの大ききさで書くとよいかなど、結構難しいことがあるので、これがあるとすごく分かりやすいし、いつでも振り返ることができると思いました。
学校教育課長	何をどのように学ぶかというところの、どのようにという部分に着目されているという点では、『東京書籍』が配慮されていると思いますし、先日、松枝小学校を訪問したときにも、教科書・ノートの作り方がきちんとしている学級は、安定していると感じました。
教育長	ほかに、ご意見・ご質問はありませんか。それでは、承認を取らせていただきます。次回教科書は『東京書籍』ということで、よろしかったですか。
委員	はい。
学校教育課長 (理科)	<p>続いて理科について説明いたします。</p> <p>選定資料 34 ページをご覧ください。理科は、6 社のうち、見本本が届いた 5 社の調査研究が行われました。</p> <p>理科では、自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことを通して、問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを大切にしています。</p> <p>このような学習に、有効に活用できる教科書はどれかを調査研究し『東京書籍』が選定されました。</p> <p>3 年生の 4 ページをご覧ください。どの学年も巻頭で、理科の学び方の基本として、「問題をつかむ」「調べる」「まとめる」という問題解決的な学び方を示し、単元を通した学習の進め方を説明しています。</p> <p>7 ページをご覧ください。単元の導入のページです。「問題をつかもう」という見出しに、「のばそう！理科の力」の表記を位置付けています。これは、3 年生でつける力を明確にしたものであり、その学年でつけたい力を意識して指導するためにとっても役立つものになっています。</p> <p>順にめくり、12 ページをご覧ください。単元のまとめのページです。パンダのキャラクターが、「単元の導入」と「単元末」に、同じ内容を問いかけ、自分の成長を実感することができるようにしています。</p> <p>このように、問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することへの配慮が十分になされている点から、理科では『東京書籍』が選定されました。</p>

教育長	何か質問があれば、お願いします。
久納委員	最近、小学校でテレビ放送を見ることはありますか。
学校教育課長	NHK for School などを見ることはあります。
教育長	理科など、現象を映像で鮮明に見られるように配慮して放送しています。 教科書から離れますが、我々は映像だけで全部理解しているかというところではないという部分があります。実際に触ってみたり、においを嗅いでみたりとか、熱があるかなど、人間の肌で感じる学習は並行して行わなければいけないと感じています。
学校教育課長	映像で見るものと自分が顕微鏡で見つけたものは違います。先日、松枝小学校でも、直接顕微鏡を見せている先生もおりました。笠松中学校でもイモリを触らせている先生もみえました。
久納委員	『東京書籍』の理科の特徴かもしれませんが、目次が普通あるべきところがないので気になります。子供は多分大丈夫だと思いますが、保護者の方が見ようと思うと、どこに何があるかわからないのではないのでしょうか。
学校教育課長	そういったご意見も承りながら、進めていきたいと思います。教材会社の特徴ですね。
教育長	ありがとうございます。質問、ご意見よろしかったですか。 では、承認を取らせていただきます。理解については『東京書籍』ということでもよろしいでしょうか。
委員	はい。
学校教育課長 (生活)	続いて、生活についてご説明いたします。 選定資料 42 ページをご覧ください。生活は、7社のうち、見本本が届いた6社の調査研究が行われました。

	<p>生活科では、「気付きの質を高めるための学習活動」「学習を効果的に進めるためのICT活用」について、有効に活用できる教科書はどれかを調査研究し『東京書籍』が選定されました。説明します。</p> <p>下巻50・51ページをご覧ください。左から、イラストで、材料を集めるコーナー、製作するコーナー、上には、ヒントを示したコーナー、右に、試して遊ぶコーナーが示され、児童が、自ら気付きの質を高めるため、どのような学習環境を設定するとよいかイメージしやすくなっております。</p> <p>また、下には、仲間と関わり、動くおもちゃを工夫していく様子を示しています。</p> <p>右下にある学習カードには、試したい工夫とその結果、仲間との関わり記録が記され、「気づきの質」を高めていくための学習が分かりやすく示されています。</p> <p>55ページの「おもちゃ図鑑」をご覧ください。右上の2次元コードからは、それぞれのおもちゃについて、材料や作り方、工夫のヒントが動画で見られ、児童がICTを活用して、いろいろな学びに広がるよう工夫されています。</p> <p>このように「気付きの質を高めるための学習活動や表現活動」「ICTを活用した学習活動の充実」への配慮が十分になされている点から、生活科では『東京書籍』が選定されました。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>『東京書籍』の特徴として、動画の質がよいということがあります。今回の県の選定基準の中でICTというのがあり、何でもかんでもICTにするのではなく、子供たちなりのICTの使い方であったり、繋がりや動画の質という点で言うと、QRコードで見ても、写真がPepperであるとか、作ってみたいなど思えるようなのがついているものが、1年生でたくさんあります。</p>
<p>教育長</p>	<p>質問ご意見よろしいでしょうか。では、承認を取らせていただきます。生活については『東京書籍』ということでもよろしかったでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p>
<p>学校教育課長 (音楽)</p>	<p>続いて音楽について説明いたします。 選定資料46ページをご覧ください。音楽は、2社の調査研究が行われました。</p>

	<p>音楽科では、児童が音楽のよさや楽しさを感じ、主体的に音や音楽にかかわり、音楽活動を通して、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を育成することを大切にしています。</p> <p>このような学習に、有効に活用できる教科書はどれであるかを調査研究し『教育芸術社』が選定されました。</p> <p>4年生 30 ページ題材名「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」をご覧ください。</p> <p>1つめの教材曲「ゆかいに歩けば」では、スタッカートで弾む旋律、旋律の音の上がり下がりや音の強さの関係について考え表現する学習が位置付いています。</p> <p>3年生「富士山」で学んだ「曲の山」の学習を想起させる配慮もされています。</p> <p>32 ページをご覧ください。リコーダーによる「陽気な船長」が位置付いています。「ゆかいに歩けば」で学んだ「弾む旋律」「なめらかな旋律」を、器楽で学ぶ教材です。</p> <p>34・35 ページをご覧ください。鑑賞でチェロのなめらかな旋律と、ピアノ伴奏の細やかな旋律が重なり合う「白鳥」で性質の異なる旋律の重なり合いを聴き取ります。</p> <p>36・37 ページをご覧ください。さらに、歌唱による「とんび」が位置付いています。とんびの鳴き声「ピンヨロー」の強弱を工夫する学習となっています。</p> <p>このように、一つの題材の中で、歌唱、器楽、鑑賞という異なる分野での学習活動を位置付け、「旋律」について、系統的、発展的に学ぶようによく配慮されている点から、音楽では『教育芸術社』が選定されました。</p>
久納委員	QRコードで曲が流れるというのはすごいですね。
学校教育課長	はい。いろいろな楽器などの紹介も多いです。
久納委員	先日テレビで言っていました、私たちの頃はタンバリンと言っていたものが、今はタンブリンというそうです。
教育長	音楽について質疑はございませんか。ご承認を取らせていただきます。音楽については、『教育芸術社』でよろしいですか。
委員	はい。

<p>学校教育課長 (図画工作)</p>	<p>続いて図画工作について説明いたします。  選定資料 50 ページをご覧ください。図画工作は、2社の調査研究が行われました。  図画工作科では、生活や社会の中の 形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成を目指しています。  このような学習に、有効に活用できる教科書はどれかを調査研究し『日本文教出版』が選定されました。  1・2年上 34 ページ、3・4年上 8 ページ、5・6年上 50 ページをご覧ください。粘土などで「立体」に表す活動です。  1年生は「ひねり出しを生かす」、3年生は「切ったり、かき出したり、つけたりして、考えながらつくる」5年生は「多様な素材を活用して美しい形を追求する」題材へと発展しています。  続けて、1・2年下、22・23 ページをご覧ください。「くしゃ くしゃ ぎゅっ」は、大きな紙をぎゅっと抱きかかえた感触を味わったり、ぎゅっとひもでしばったりしながら、つくりたいものを考え「立体」に表す題材です。  素材の感触を味わい、素材に働きかけながら、作りたいものを表現していく、主体的な学びが生まれるよう題材が設定されています。  さらに、QR コードで読み取れる内容も、詳しい資料や動画があり、発展性が認められます。  このように、「指導内容を明確にした発展性のある構成」や、素材と向き合い、仲間と対話しながら造形的な見方や考え方、感じ方を広げ深めていくことに、よく配慮されているという点から、図画工作科では『日本文教出版』が選定されました。</p>
<p>教育長</p>	<p>ご質問などございませんか。  今の教科書は、写真が綺麗で、紙質も分厚いですね。その分重くなっています。  質疑応答はよろしいですか。では、図画工作の承認をとらせていただきます。  図画工作は『日本文教出版』でよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p>
<p>学校教育課長 (家庭科)</p>	<p>続いて家庭科について説明いたします。  選定資料 54 ページをご覧ください。家庭科も、2社の調査研究が行われました。</p>

	<p>小学校家庭科の目標は、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住に関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することです。</p> <p>このような学習に、有効に活用できる教科書はどれかを調査研究し『開隆堂』が選定されました。</p> <p>6ページをご覧ください。家庭科の学び方として、小題材ごとに、「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」という3段階の問題解決的な学習が展開され、育成すべき資質・能力をバランスよく身に付けるための構成・配列がされています。</p> <p>10ページをご覧ください。単元の学習の導入に、この3段階が「学習のめあて」として示され、19ページまで進む単元の学習を、見通しをもって学びを進め、知識・技能を確実に身に付けるとともに、さらに主体的・対話的な深い学びを生み出し、家庭実践につながるよう適切に配慮されています。</p> <p>80ページから83ページをご覧ください。4ページにわたって、「生活の課題の実践例」が4つ掲載されています。</p> <p>全ての実践例が、ステップ1から5で示され、児童が、実践例を理解して、主体的な学びにつなげることができるようにしています。</p> <p>また、『開隆堂』の教科書の紙質は手触りもよく、色も柔らかくなっております。こうした理由から、家庭科においては『開隆堂』が選定されました。</p>
久納委員	<p>字のサイズが細かめな感じがしますが。</p>
学校教育課長	<p>高学年になるので、どうしてもこれくらいになります。</p>
教育長	<p>見開きでそのやり方がわかるといった配慮もあります。</p> <p>ちょっと教科書からまた離れますけど、ガスコンロを使っていらっしゃる方は、どれくらいなのだろうと思うことがあります。子供たちのことで心配するのは、火の取り扱いについてです。特別支援学級の授業で、バーナーの火が見えない子がいるといった経験をしました。</p>
岩井委員	<p>孫は、マッチを使ったことがないと言っていました。本当にそれでいいのか、そういった経験がつめる学びになることを期待したい。</p>
教育長	<p>家庭科について、その他質疑応答よろしかったでしょうか。</p>

委員	<p>家庭科の教科書については、『開隆堂』ということで、よろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p>
<p>学校教育課長 (保健)</p>	<p>続いて保健について説明いたします。</p> <p>選定資料 62 ページをご覧ください。保健では、6社の調査研究が行われました。</p> <p>体育科の保健領域では、身近な生活における健康・安全についての基礎的・基本的な「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」をバランスよく育成することを大切にしております。</p> <p>このような学習に、有効に活用できる教科書はどれであることを調査研究し『東京書籍』が選定されました。</p> <p>5・6年の49ページをご覧ください。「感染症の予防」の学習です。ページの右上に、学習の進め方を「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4つのステップで示しています。</p> <p>「気づく・見つける」場面では、感染症への関心を高め、学習意欲を持つことができるよう、16の感染症を示し、自らの知識や経験を確認するようにしています。</p> <p>50・51ページをご覧ください。「調べる・解決する」場面では、感染症の予防について、感染の仕方と、それを予防する方法に分けて、わかりやすく示しています。</p> <p>「深める・伝える」場面において、「嘔吐した時の教師の対応について、その理由」を考え交流することで、学んだことをもとに、思考し判断する力を育むように考えられています。</p> <p>52・53ページをご覧ください。「まとめる・生かす」の場面においては、感染症に関する学びをまとめるとともに、マスクの付け方を丁寧に説明し、生活に生かすようにしています。</p> <p>このように、主体的・対話的で深い学びを通して、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成できるようによく配慮されています。</p> <p>こうした理由から、保健においては『東京書籍』が選定されました。</p>
教育長	<p>質疑応答については、よろしかったでしょうか。</p> <p>では、教科書については『東京書籍』ということでよろしいでしょうか。</p>

委員	はい。
学校教育課長 (外国語)	<p>続いて外国語について説明いたします。</p> <p>選定資料 70 ページをご覧ください。外国語は、6社の調査研究が行われました。</p> <p>英語の授業では、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を通して資質・能力を育成することを大切にしています。そのためには、教科書においてコミュニケーションの目的・場面・状況等を明確にした言語活動が設定されていることが大切です。</p> <p>このような学習に、有効に活用できる教科書はどれであるかを調査研究し『開隆堂』が選定されました。</p> <p>5年の50・51ページをご覧ください。51ページの上部にあるよう、この単元では「自分のできること、できないことについて工夫して発表することができる」という Goal に向けて学習を進めていきます。見開き2ページずつ、1時間から2時間かけて様々な活動を通して表現に慣れ親しみます。</p> <p>56・57ページをご覧ください。57ページの絵で表されているのがこの単元の最後の活動です。活動は「自分ができると、できないことについて、みんなに興味をもってもらえるように、工夫して発表すること」です。そのために、56ページでは簡単なメモを作成して、ペアで伝え合う Let's Try という学習活動が設定されています。</p> <p>このように、言語活動にコミュニケーションの目的・場面・状況が丁寧に設定されており、それに合う英語表現を思考・判断・表現できるようによく配慮されています。</p> <p>こうした理由から、外国語においては『開隆堂』が選定されました。</p>
久納委員	<p>小学校ではじめて英語が実施されたとき、その時点では中学校は『開隆堂』でした。その後、中学校で採択があったときに、やはり小学校からの流れを考えて同じ当初の『東京書籍』にするというのがあったと思います。今回また『開隆堂』になるということは、中学校との流れは本当に意識しなくても良いってことなのか、中学校がまた今度『開隆堂』に変わる可能性もあるのか。</p>
学校教育課長	<p>これは、断定的なことは言うことができません。実は家庭科もそうだったのですが、まずは子供たちの段階として、小学校英語については、英語嫌いは作って</p>

<p>久納委員</p>	<p>はいけないということで、子供にとって楽しんで学ぶという方向にシフトが入っている分、負荷が多いのではないかという説明もありました。</p> <p>小学校の英語は、専門外の先生が授業をされたりとか、担任が基本的に授業をしますので、学び方やそういう見通しの部分を持った教科書であるということ考えたときに、この選定については、非常に適切な、どの先生も使いやすいものであると考えられます。</p> <p>中学校一年生の英語の教科書を見ると、単語の欄で、小学校で習った単語が羅列されており、書けるものとして、進めています。この教科書を選ぶことそのものは賛成ですが、そういったことに対する配慮も必要であると思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>7年度からの新しい中学校の対策になってきますので、そういったことも我々の方からどういう対策がとれるとよいのかを、申し上げさせていただきます。</p>
<p>教育長</p>	<p>いずれにしても、小学校の学習がどこまできちんとしているかということの上 に立った問題であることであると認識しております。</p> <p>では、質疑については他にございませんか。</p> <p>外国語の教科書については『開隆堂』ということによろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p>
<p>学校教育課長 (道徳)</p>	<p>最後に、道徳について説明いたします。</p> <p>選定資料78ページをご覧ください。道徳は、6社の調査研究が行われました。道徳教育は、多様な感じ方や考え方に接しながら、答えが一つではない道徳的な課題を自分自身の問題と捉え、自分はどうするのか、どう生きるのかを考えることを大切にしています。</p> <p>このような学習に、有効に活用できる教科書はどれであるかを調査研究し『光村図書』が選定されました。</p> <p>6年の65ページ「クジラとプラスチック」をご覧ください。現代的な課題である「環境問題」を取り上げ、「自然愛護」の価値項目について考える教材です。海に捨てられていた鯨の死体の写真が掲載されており、児童の心に強い印象を与えます。</p> <p>66ページを開くと、実は実際の死体の写真ではなく、プラスチックゴミで作られたものであることが分かります。このように、児童が問題意識をもって、クジ</p>

	<p>ラの模型を作った人々の営みや思いに着目しながら、自然を大切にするために自分にできることを考えられるよう構成を工夫しています。</p> <p>4年の40ページをご覧ください。いじめについて考える教材がユニットで構成されています。一つ目の教材「心のシーソー」では、「正しい行動をすることの大切さ」を考えます。</p> <p>45ページからの二つ目の教材「学級会での出来事」では「異なる考えを理解することの大切さ」を考えます。そして、49ページのコラム「いじめを見つけたら」では、友達との関わりの中で自分にできることについて考えます。</p> <p>このように教材間の繋がり、関連性など、子供たちが自然な思考の流れの中で、いじめについて考えることができるような構成となっています。</p> <p>このように、「考え議論する」道徳を実現するために、主体的・対話的な学びが展開できるようなテーマや問いが工夫されています。</p> <p>こうした理由から、道徳については、『光村図書』が選定されました。</p>
久納委員	道徳の授業時間はどれくらいありますか。
学校教育課長	1年生が34時間。あとはすべて、35時間となっております。
学校教育課長	同じような教材の中で、アプローチの仕方という点で、学び方について載っていたり、教材ごとに工夫されています。
教育長	道徳は、評価の難しさはあるかもしれない。我々が担任していたころの道徳は、全部自分たちで資料を探して、指導計画を作ってそれを資料の並び替えとか、見直しをしたりとか非常に大変だった記憶があるのですが、そうした面では、今は教科書を使ってできるという点では、ありがたいと思うし、平等にそれぞれの子供たちが学んでいける機会になったと思います。
久納委員	<p>一部の保護者の方ですけど、道徳って何を教えているのか、必要なのかなってというようなことを保護者の方同士で話している声を聞いたことがあります。</p> <p>あまりなじみのない教科こそ、教科書を見てもらう機会があるといいと思います。</p>
教育長	思っていることは、一緒に教科書を読んで、親子でその価値について話し合ったりするとよいと思います。そのゴールはどこにあるか分かりませんが、一緒

委員	<p>になって考えるという、そういった時間をもってもらえるといいということをおもいました。</p> <p>それでは、質疑についてよろしいでしょうか。</p> <p>道徳については『光村図書』ということによろしかったですか。</p>
教育長	<p>はい。</p>
学校教育課長	<p>以上で説明及びご承認いただくことについては、終えます。</p> <p>今後については、レジュメ7ページをご覧ください。</p> <p>本日採択いただいたことを、岐阜地区採択協議会に報告いたします。その後、協議会に参加している市町全てが同じ採択で協議が調った場合は、採択完了となり、ホームページにおいて採択の議事とともに、採択された教科書を公表してまいります。</p> <p>その後、協議会に参加している全団体の採択が、28日までに揃った段階で、採択完了となります。</p> <p>ただ、この教科書採択、どこの教科書が採択されたかということについては、8月31日までは、非常に秘密の話になっております。</p> <p>こういった教科書を使いながら子供たちのために、よりよい授業を進めて参ります。</p> <p>長時間に当たって。教科書採択に関わるご審議ありがとうございました。</p>
教育長	<p>5分ほど休憩をはさみ、会議を再開させていただきます。</p>
教育長	<p>協議日程第4に入ります。</p>
社会教育課長	<p>では、協議題1、「羽島郡地域学校協働活動研修会」についてご説明します。4ページをご覧ください。</p> <p>8月30日水曜日、14時より「羽島郡地域学校協働活動研修会」を行います。本事業は、岐阜県と岐阜大学が共同で運営する「岐阜地域学校協働活動センター」による「地域学校協働活動支援プログラム」を利用して実施します。</p> <p>昨年度までは学校及びグループコーディネーター研修会という名称で実施していましたが、研修会の目的と対象者をより明確にするため、このように名称を変更しました。</p>

	<p>講師は多治見市立根本小学校の横山美智代校長です。横山校長は、昨年度まで県の社会教育担当者として、コミュニティスクールや、地域学校協働活動の推進に尽力されてきました。これからの学校経営の柱となる学校運営協議会のあり方について研修します。</p> <p>参考までに6ページ、7ページに文部科学省の資料を添付しています。またこれまで本研修には、教頭を含む各学校より2名の方に参加していただきましたが、より今後の活動の活性化を図るため、また、地域学校協働活動に対する理解の輪を広げようと、校長や学校運営協議会委員の皆様にも広く参加を呼びかけています。</p> <p>教育委員の皆様もご都合がつくようでしたら、ぜひご参加ください。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>続きまして、協議題2、「夏休み子供教室、夏の親子教室」についてご説明します。</p> <p>子供たち自身が体験することを重視し、子供たちが興味を持てるようなものづくり、環境、調理など、幅広く教室を準備しています。また、地域の人材、地域の企業や高校ともコラボして教室を開催します。</p> <p>野原教育長も紙ヒコーキの講座を担当します。</p> <p>子供にとっては学びの場、地域の方においてはふれあいの場になるとともに、年齢を縦につなぐ交流の機会となっています。</p> <p>以上です。</p>
<p>教育長</p>	<p>今、2つの説明がありました。ご質問等ございますか。これは知っていただくということです。ご承知おきください。</p>
<p>岩井委員</p>	<p>30日の研修会は、出席するということによいのですか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>もし、ご出席可能であれば地域学校協働活動を知っていただければと考えています。</p>
<p>教育長</p>	<p>去年は岐阜小の方の講演がありました。なかなかよい話でした。</p> <p>もし出席いただけるのであれば、藤枝課長の方までご連絡ください。</p>
<p>総務課長</p>	<p>資料10・11ページをご覧ください。</p> <p>(3) 教員採用選考2次試験の参観につきまして</p>

	<p>先日、本日の第5回教育委員会定例会議のご案内を郵送した際、岐阜県教育委員会より依頼のありました今年度の教員採用選考2次試験の参観案内を同封させていただきました。これについては、採用選考の改善に向けたご意見を伺うためという位置付けもあり、羽島郡二町教育委員会からも、毎年教育委員の方どなたかにご参観いただいております。昨年度は、岩井委員さんに参加いただいております。</p> <p>今年度は、会場も2ヶ所予定しており「小中学校教員採用選考試験」だけでなく「高校・特別支援学校教員採用選考試験」の参観も可能となっております。どなたか、参観を希望される方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
久納委員	参観させていただきます。
総務課長	久納委員さんについては、那加中学校の小中学校の教員採用試験の参観という形で報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。 他に希望はございませんか。
教育長	私も出席させていただきます。
総務課長	それでは、当日はよろしく願いいたします。
総務課長	資料12・13ページをご覧ください。 (4) 岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会の開催について こちらにつきましても、案内を同封させていただきます。岐阜県教育委員会事務局から、分科会グループ編成のため、概ねの参加状況を把握したいとのことで、7月の定例会での確認依頼と7月31日までの報告依頼がありました。 開催については、11月10日(金)10:00~15:00 可児市文化創造センターを予定しております。みなさま、一日ご参加いただけるということでよろしいでしょうか。
委員	はい。
総務課長	ありがとうございます。つきましては、13ページにありますように、午後は4つの分科会に分かれてご参加いただく形になりますので、それぞれ第3希望まで記入いただき提出しなければなりません。

<p>総務課長</p>	<p>お考えいただいているかと思しますので、お一人ずつ確認させていただきます、よろしく願いいたします。</p> <p>(確認)</p> <p>久納委員 第一希望②・第二希望④・第三希望③  岩井委員 第一希望①・第二希望③・第三希望④  西 委員 第一希望③・第二希望①・第三希望②  羽田野委員 第一希望①・第二希望④・第三希望②  野原教育長 第一希望③・第二希望④・第三希望②  宮川課長 第一希望④・第二希望③・第三希望②  藤枝課長 第一希望①・第二希望②・第三希望③  坂井課長 第一希望②・第二希望①・第三希望④</p>
<p>総務課長</p>	<p>続きまして、資料14・15ページをご覧ください。</p> <p>(5) 次回(第7回)教育委員会定例会の開催につきまして  令和5年第7回定例会については、9月に実施する予定でございます。カレンダーでお示しいたしました通り、現時点ですでに予定が入っているなど、事務局側の都合が悪い日には「×印」を付けさせていただきました。また、先月(6月)下羽栗小学校を訪問させていただきましたが、9月は岐南町立西小学校の訪問を予定しております。</p> <p>最近5年間の実施日・実施場所につきましても、15ページに示させていただきましたので、本日現在での委員のみなさまのご都合をお聞かせいただき、開催日などを決めさせていただきたいと考えております。</p> <p>お忙しいとは存じますが、ご都合はいかがでしょうか。</p> <p>(確認)</p>
<p>総務課長</p>	<p>次回(第7回)教育委員会定例会は、令和5年9月25日(月)午前中に岐南町立西小学校にて開催させていただきます。</p> <p>詳細につきましては、別途「開催案内」を送付いたします。よろしく願いいたします。</p>
<p>総務課長</p>	<p>最後に、資料16・17ページをご覧ください。</p> <p>(6) 次々回(第8回)教育委員会定例会の開催につきまして</p>

	<p>先ほど9月の第7回教育委員会定例会の日程は決めさせていただきましたが、10月の会議につきましても、お諮りしたいと思います。</p> <p>例年、第1回羽島郡二町教育委員会運営協議会と同日の開催とし、午前中に教育委員会定例会、午後に運営協議会を実施しております。会場につきましては、その年度の運営協議会長の町で開催しておりますので、今年度は笠松町で行う予定でございます。</p> <p>両町の運営委員等のスケジュール 及び 会場の空き状況を確認させていただいたところ、現時点での候補日として「10月23日(月)」「10月25日(水)」「10月27日(金)」の3日間のうち、いずれかをお願いしたいと考えております。</p> <p>お忙しいとは存じますが、ご都合はいかがでしょうか。</p> <p>(確認)</p>
総務課長	<p>次々回(第8回)教育委員会定例会は、令和5年10月23日(月)午前中に笠松町役場にて開催させていただきます。また、午後に運営協議会を予定しております。</p> <p>詳細につきましては、別途「開催案内」を送付いたします。よろしくお願いたします。</p>
教育長	<p>長時間に渡ったご審議、ありがとうございました。これをもちまして、令和5年第6回羽島郡二町教育委員会定例会を閉めさせていただきます。</p> <p>&lt;閉会&gt;</p> <p>(午前11時25分 閉会)</p>